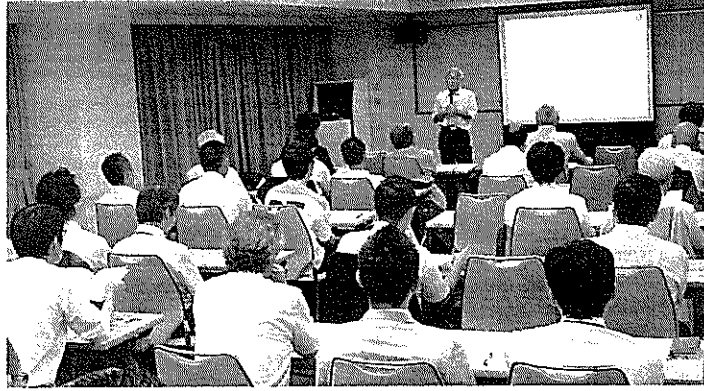


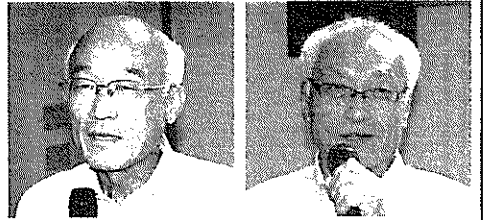
第1回セミナーを開催 設計事務所の成長考える

京都設監協会・府建築家協組

(一社) 京都建築設計
監理協会(湯川君雄会



下京区内で開かれたセミナー



講演する成岡氏

挨拶する下西理事長

長)・京都府建築家協同組合(下西伊佐男理事長)は7月28日、29年度第1回セミナーを下京区のホテルで開催した。京都商工会議所との共催で、会員・組合員約50人が参加。成岡マネジメントオフィス代表取締役で中小企業診断士の成岡秀夫氏が「設計事務所(会社)の成長とは」コスト意識とリーダーの育成」をテーマに講演した。

開会にあたって府建築家協組の下西理事長は、「これからの設計業界は、成長戦略など講師が話される内容をベースに事業展開していくか、働き方改革などにならな

い。講師の話を会社経営にぜひ生かしてほしい」と挨拶した。成岡氏は、会社の代表者が考える成長の概念について「経営理念に基づきイメージする将来の経営ビジョンが自らと従業員の努力で達成できること」と指摘。「明確な企業理念に基づき3年、5年先の経営ビジョンを打ち出し、他社と比べた強みを伸ばして弱みを手当することが大切」と強調。

経営陣が取り組むマネジメントのあり方に触れ「中小企業は経営資源が乏しいので、同時に色々なことはできない。課題解決の優先順位を常に考えて着手の順番を間違えないことが大事だ」と語った。また、会社経営に求められるリーダーシップについて「従業員の働きがいは、『連帯感』『仕事に対する誇り』『経営陣への信頼』の3つの要素から成り立ち、リーダーはこの要素を欠けないようにしなければならぬ」と強調。リーダーシップを發揮するには「目的や方向性を明らかにし、メンバーに影響を与え、自ら実現のために行動することが大切」と説いた。

セミナー終了後にはビアパーティーが開かれ、京都設監協会の湯川会長が挨拶した後、羽生田英雄副会長の発声で乾杯。参加者は交流の和を広げた。